

Ⅲ や っ ち ゃ ば 閑 話

「花言葉」

読者の皆様は、部屋にお花を飾られているでしょうか？

これからの歓送迎会シーズンや普段の生活の彩りに欠かすことが出来ない花ですが、皆様はお花を買うときにどんなことを考えて買われているでしょうか・・・？

自分の部屋に置いたシーンを想像したり、歓送迎会では贈る相手の好きなお花を選んだり、お花屋さん和相談しながら選んだり、香りが好きな花だったり、フラワーアレンジメントでちょっと贅沢を試してみたり、人によってさまざまだと思います。

さて、お花にはそれぞれ意味があることを御存じでしょうか。言葉で直接気持ちを伝えることが出来るのも、私たち人間の良いところですが、お花には1つ1つ「花言葉」があり、言葉だけではなく渡すことで伝えることが出来る魅力を持っています。

「感謝」や「祝福」、「愛」等、お花ごとに持つ意味合いも変わってきます。

この「花言葉」の起源を調べてみると、諸説あるようですが、現在のトルコの「セラム」という文化、風習から来た説が有力でした。当時のトルコでは、恋人に文字や言葉ではなく、花や果物に自分の想いをのせて贈る風習「セラム」があったそうです。

これが「花言葉」の起源とされており、トルコからヨーロッパに18世紀に伝わり、19世紀にはフランスの上流階級を中心に大ブームとなり、花言葉にまつわる本まで出版されたそうです！マナーが厳しく本音がなかなか言えない社交の場でも、お花であれば自分の想いが伝えられる、、大ブームとなるわけですね！日本には、明治時代に西洋文化の1つとして伝来したそうです。

これからの送迎会シーズンでは門出を意味する「スイートピー」や、感謝や希望を意味する「ガーベラ」や「ダリア」が人気ですね！5月の母の日には、「母への愛」や「感謝」を意味するカーネーションを贈ったりと花を贈る仕来りも日本の文化にも馴染んできています。花言葉はその花の色によっても持つ意味が変わるところも面白いのですが、文字数的に厳しいので、またの機会があれば・・・(ぜひ調べてみてください！)。

このような「花言葉」を意識してお花を贈ったり、アレンジメントに挑戦するのも面白そうだなと思う今日この頃です。

千葉県は、花き生産額が全国2位で、年間を通じて多種多様な花が出荷されている全国でも珍しい県ですので、歓送迎会等の機会には、ぜひ千葉の花をお求めになって頂けると幸いです。

(元・意地のアクアライン通勤)